

平成20年度第1回岡山市総合政策審議会総務・社会部会会議要録

- 1 日 時 平成20年7月10日(木) 午前10時～12時
- 2 場 所 保健福祉会館 9階 大会議室
- 3 出席委員 井上部会長、片山副部長、大森委員、古南委員、高津委員、戸部委員、橋ヶ谷委員、藤井委員、妻鹿委員
- 4 出席職員 佐古副市長、総務局長、総務局審議監、人事課長、職員課長他
- 5 議 題 (1) 議員の報酬、期末手当について
(2) 市長、副市長、代表監査委員の給料、期末手当、勤勉手当について
(3) 市長、副市長の退職手当について
- 6 配布資料 [略]

7 会議要録

佐古副市長より井上部会長へ諮問書が手渡された後、意見交換が行われた。

(主な意見)

- ・市役所本体の財政状況によって、報酬等の水準を考える方向が違ってくる。今後5年間の財政状況がどうなるのかを踏まえて検討することが必要。
- ・職員の給与が下がってきている中で、12年間、特別職の給与についてはそのままにしてきたというのはいかがなものか。
- ・普通まず考えられるのは、本体が赤字であるとすれば、トップの給与というのはどうしても下げるということになる。
- ・今回政令市としてふさわしい報酬等を決めるとしても、この先は何年かごとに財政状況等を参考にチェックしていく必要がある。
- ・政令市を目指している岡山市として、類似の政令指定都市の状況等も大いに参考に決めていくべき。